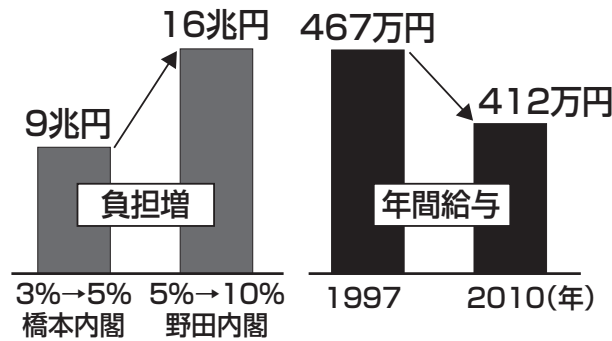


# 消費税増税 3つの大問題

消費税増税。「こんなに不景気で震災、原発事故に苦しんでいるときになぜ」と大きな批判が起きています。消費税増税には「3つの大問題」があります。

- ムダづかいは続けたまま
- 社会保障は切り捨てばかり
- 経済も財政も共倒れになる

3%から5%増税でも日本経済は急落。10%なら決定的打撃に



## 民主党に政権担う資格なし

### 衆院解散し 国民の審判仰げ

#### ● 自民党以上に自民党的

野田政権が“政治生命をかけて突き進む”という消費税10%への増税も、米軍普天間基地の「辺野古移設」も、自民・公明政権が始めた動きをそっくり引き継いだものです。そのうえTPP参加に暴走。いまや野田政権は自民党以上に自民党的です。

#### ● 裏切りの反省なし

志位委員長が、「政権交代に託した国民の願いを裏切っている自覚と反省があるか」とただしたのに対し、野田首相は「消費税増税は公約違反でない」と開き直りました。裏切りへの自覚と反省が決定的に欠けています。

#### ● 暴走続ける政権にノーを

民主党・野田政権が自民党政権と変わらないのは、“アメリカいなり・財界中心”の「二つの害悪」にしばられているからです。そこから抜け出せず、

あらゆる分野で公約を裏切る民主党。もはや政権を担う資格はありません。衆議院を解散し、国民の審判を仰ぐべきです。

「消費税増税は破壊的政策」  
野田首相 野田時代追及

野田首相は野田時代、橋本内閣が消費税増税などで9兆円負担を押しつけたとき（1997年）「もっとも愚かで、もっとも無意味で破壊的な経済政策」と追及しました。今回は、消費税増税で13兆円、年金支給額の切り下げなどを含め16兆円の負担増。はるかに「破壊的」です（上のグラフ）。

## 「民意切る」 比例削減は

「身を切る」というが

衆院比例定数 80削減で 各党の議席は	衆議院の議席数 (比例区+小選挙区)	
	2009年 総選挙	比例80削減すると
民主党	308	275
自民党	119	94
公明党	21	10
日本共産党	9	4
社民党	7	3
みんなの党	5	4
国民新党	3	3
諸派・無所属	8	7
合計	480	400

2009年総選挙の得票をもとに試算

野田首相は「身を切るから消費税増税を認めて」と言い出しました。対象は衆院比例区の定数80削減。

比例代表は現在の選挙制で最も民意を反映しています。小選挙区は1位以外の民意は切り捨てられるため、民主党は比例得票率42.4%

で、比例・小選挙区あわせて64.2%の議席を得ています（09年総選挙）。

比例が80削減されると議席占有率は68.8%になり民主一人勝ち。切られるのは「民意」です。その上、消費税10%では国民は踏んだり蹴ったりです。

### 切るなら政党助成金

「身を切れ」というなら何よりも総額320億円、国会議員1人当たり年間4600万円の政党助成金にメスを入れるべきです。民主党の収入の82.7%が政党助成金。国民の税金でぬくぬくしている党の体質をこそ、正してはどうでしょう。

#### メディアもズバリ指摘

東京新聞（1月19日付）

「国会議員自らが身を切るというのなら、議員歳費や、約320億円を共産党以外の各党が山分けしている政党交付金（助成金）の減額を優先させてはどうだろう」

毎日新聞（1月24日付）

「各党が交付金と歳費の1割でも2割でもカットする方が『身を切る』姿勢としてはよほど理にかなっている」